

令和4年度 グローバル教育講演会

1 実施概要

(1) 実施の目的

海外で自然災害等の被害者への救援（支援）事業に携わった人の話を聞き、グローバル人材に求められる資質と能力を涵養する。

(2) 実施日時

令和4年12月20日火曜日 13時40分から14時40分

(3) 講師

亀岡 美沙 【横浜市立みなと赤十字病院 看護師】

(4) 講演の内容

ネパール及びバングラデシュにおける医療活動や難民支援における異文化理解について

(5) 事前学習及び事後振り返り

講演会の前週に、ネパールやバングラデシュにおける日本赤十字社の活動についての動画を視聴し、振り返りを行った。

講演会終了後に、振り返りを行い、「講演会の感想」、「新たな気づき」などを考えた。



「亀岡さんの説明風景」



「講演会の遠景」

2 事前学習

事前学習の振り返りでは、「動画を見て、一番心に残ること」、「これらの問題を解決するための取組」、「動画に出てくる人と、自分の文化の違い」の3つを質問した。

<主な回答>

【動画を見て、一番心に残ること】

- ・バングラデシュの避難キャンプでの医療状況が悪いこと。
- ・きれいな水が手に入りにくいなど、衛生状況が悪いこと。
- ・地震などの災害が起きた時は注目されるが、その後、世界の人々が注目しなくなる現実があること。
- ・私たちと同じ年の子もいるのに、こんなにも生活に差が出てしまうのはその国の問題ではなく、世界の問題だと感じた。

【これらの問題を解決するための取組】

- ・その国だけで取組むのではなく国際的に助け合う。
- ・戦争をなくす。

【動画に出てくる人と、自分の文化の違い】

- ・医者が来たことが無かったり、栄養失調になるほどの食糧不足である、というのを聞いて食料もお医者さんも身近にいる自分は当たり前ではないと改めて思った。
- ・家があることが普通じゃないことや食べ物を毎日3回食べられることが当たり前じゃないこと。
- ・死ぬことが私たちよりも身近にあること。

3 事後の振り返り

講演会後の振り返りでは、「講演会を聴いて、新たに気付いたこと」、「ロヒンギャ難民の人々と私たちの文化の違い」、「自分たちが取り組めること」、「全体の感想」の4つを質問した。

<生徒の主な回答>

【講演会を聴いて、新たに気付いたこと】

- ・あまり難民という言葉に馴染みがなく生活しているが、講演を聴いて、私たちは苦しむ事なく生活できていることに感謝しなければいけないと思った。
- ・ボランティアで現地に行く人もそれなりに劣悪な環境で暮らすことになることを知り、現地に行っている人は尊敬しなければいけないと思った。

- ・もらった石鹸の使い方がわからずに売るという話をうかがったのは衝撃であった。
- ・絵も描けない、字も書けないその状況での説明をうけるのは大変だと思った。だからこそ、一つ一つの説明の丁寧さなどが大切だと分かった。
- ・教育を受けていないと記憶することも難しく、何回も唱えて覚えているのが印象的だった。普段勉強していて将来必要ないと思うこともあったけれど、勉強の積み重ねが就職するときだけでなく、普段の生活に影響すると感じた。

【ロヒンギャ難民の人々と私たちの文化の違い】

- ・イスラームを信仰している人が多くて、赤十字社ではなく、赤新月社にしてキリストを連想させないようにしていた。
- ・何度も停電してしまうことがとても印象に残った。
- ・女性が前に立たず、男が前に立つものだという男尊女卑が根強くあること。
- ・手を洗う習慣がないため、手の洗い方を知らないこと。
- ・怪我をしたらどうしたらいいか分からないから傷口に歯磨き粉を塗ったりすること。
- ・食べるところが床に直接お皿を置いていたり、手で食べていたりするから不衛生で病気になりやすいと思った。

【自分たちが取り組めること】

- ・もっと異文化について知識をつけたり、それについて周りとも話していくことが大事だと思った。
- ・私たちは直接的に支援することは出来ないけど、自分が当たり前に行えることが出来ない国もあるのでそれをより多くの人に知ってもらうことが大切だと思う。
- ・難民キャンプへの支援だけでなく、難民の人たちについて関心を持ち知ることが大事であると感じた。

【全体の感想】

- ・1つの争いによって事態がどんどん大きくなってしまふのが衝撃的でした。そんな中でも赤十字社の方々は前向きな気持ちを忘れずにいきいきと活動していてすごいなと思いました。私たちよりも幼い子供が教育を受けられずに水汲みをさせられている写真を見て生活状況の悪さを感じました。
- ・いつもDVDなどを見て具体的な活動はよくわからなかったけど今回聞いてみて赤十字がどんな活動をしているのが分かった。
- ・いろんな写真を持ってきてくださったので、知らない様子や現状を理解できてよかった。説明が詳しかったのでよりグローバルのことについて理解が深まったと思う。

- このような劣悪な環境が私たちと同年の子、ましては私たちよりも小さい子が経験して、その中で生活しているのは、この人たちの問題ではなく国全体の問題だと感じた。だからこそ国同士の協力が必要だと改めて感じた。
- ちゃんと異文化を理解しないと偏見とかを持ってしまうので他国のことを学ぶことが大切と思いました。
- 異文化の人々と接するときはず、自分の健康管理を行ったり、相手のことを知ることが大切だと思った。クラスメイトともしっかりコミュニケーションを取ることが大切だと思った。
- 今までは世界中にはたくさんの避難民がいるということしか知らなかったが今日の講演を通してそこで起こっている環境問題やそれに対して赤十字社のような支援団体がどのような形で支援しているのかということを知ることができた。
- 今わたしが当たり前のように学校へ行って授業を受けていることがミャンマーの人にとっては当たり前ではないことを改めて実感したから、学校とか授業だるいなーって思うことが多いけどミャンマーの人たちのことを思うとこの環境に感謝して授業を受けたいと思った。